

平野ヶ丘

生み出したい『元気』 それは、前向きに生きようとする意志

新年度が始まり、4 月が終わろうとしています。朝や休み時間には、紫色、黄緑色、黄色、水色、オレンジ色、青色の学年帽子が、色鮮やかに運動場を動き回るさわやかな光景を目にすることができます。私たち教職員も、子どもたちの明るさに元気をもらい頑張っています。多くの教職員が異動で交代しましたが、育友会や地域の方々の登下校の見守りをはじめ、保護者及び地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、落ち着いてスタートすることができました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

『養正教育の日に寄せて』

4月22日（土）の養正教育の日には、多数のご参観ありがとうございました。新しい学級の仲間や担任と張り切って取り組む姿を見ていただき、子どもたちにとって大きな励みになったと思います。ようやく新型コロナが第5類に移行される状況になりました。統一地方選挙がなければ、22日の育友会総会は体育館で実施するつもりでした。何とかオンラインと放送による総会になりましたが、育友会会長さんや校長の顔を知っていただけたことができてうれしく思っています。

～総会でお伝えした校長としての願い～

私は、始業式で「元気が生まれる学校」にしたいと子どもたちに語りました。子どもたちは「元気が生まれるってどういうこと？」と思ったことと思います。子どもたちには『めあて』をもって生活すれば元気な心が生まれるよと伝えました。『めあて』には、大きな『めあて』と小さな『めあて』があります。子どもたちには、日常生活の中の小さな『めあて』も大切にしてほしいと願っています。「今日の昼休みの学級遊びは楽しく遊ぶぞ！」「今日は10ページは読書をするぞ！」「今日の授業は、先生の話聞いて1回は手を挙げるぞ！」など、どんなことでもいいと思います。どうせやるならば、「何となくやる。」「言われたからやる。」「仕方がないからやる。」ではなく、楽しく頑張ろうという気持ちで挑戦してほしいと伝えました。

生み出したい『元気』は、ずばり、『前向きに生きようとする意志』だと考えます。変化が激しく予測が難しい時代をたくましく生き抜くためには、『元気』が欠かせません。私も『元気』な校長でありたいと思っています。

とはいえ、挑戦してもうまくいかずくじけそうになる時もあります。そういう時こそ私たち大人は、「失敗しても大丈夫。応援しているよ。」と励ましていきたいです。そうすれば子どもたちは、もう一度立ち上がります。私達教職員は、子どもたちが安心して挑戦できる学校を目指して頑張ります。そのためにも、保護者及び地域の皆様と手を取り合って進めていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いします。

